

# 日本文化学科

Department of Japanese Studies

日本文化を深く理解し、  
世界へ発信できる力を養います。



## 学科の特徴

### ▶文化という視点から幅広く学ぶ

日本文化を正しく理解するために、芸術・思想系、民俗・歴史系、現代社会系など様々な角度から学べる豊富なカリキュラムを用意しています。自分自身の興味に合わせてじっくりと学べます。

### ▶伝統文化を実践と理論の両面から修得

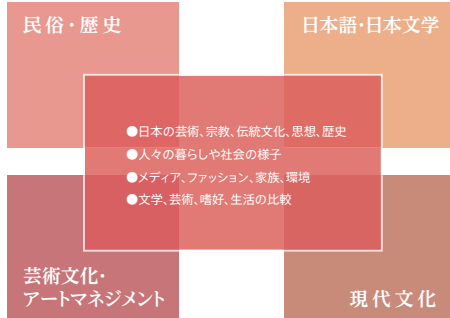
茶道、華道、書道、香道、有職故実といった伝統文化については、共通科目の中で「実習」することが可能です。そうした体験をより正確に、また理論的に理解するための講義科目が、日本文化学科の専門科目には設けられています。実践と理論の両方を通じて、正しく伝統文化を理解することを目指した、本学ならではのカリキュラムです。

### ▶高いコミュニケーション能力を養う

昨今、日本文化は海外から注目され、世界で関心が広がっています。日本文化の特質について、世界へ発信するために必要な語学力、情報処理能力など、高いコミュニケーション能力を培います。海外からの多くの優秀な留学生と一緒に学べる充実した学習環境も魅力です。

### ▶学科の枠を越えて自由に学べる

日本文化学科の専門科目に限らず、一人ひとりの興味・関心に合わせて、他学科の専門科目群からの履修も可能で、国際的な視野と感覚も培うことができます。より広く学ぶことによって、将来の可能性が広がります。



## 教育目標

日本文化を正しく世界に発信するために、  
深い造詣とグローバルな視野を身につける。



## “自分にとっての日本文化”を考える

日本文化学科 主任  
岩淵 令治

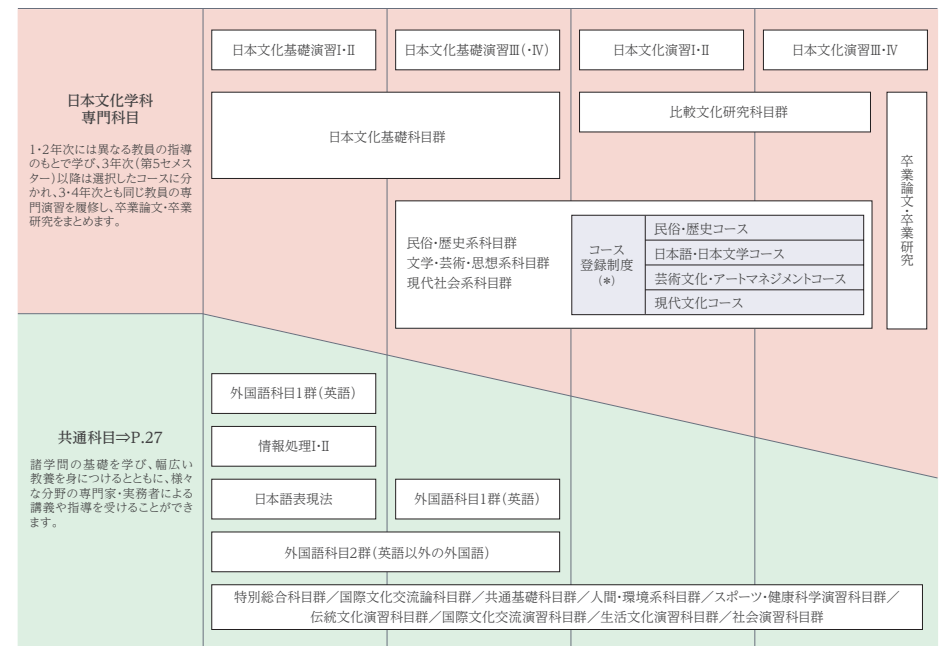
グローバルとローカルの双方の視点を重視する「グローバル」という造語があります。日本文化学科は、まさに地球規模の視野と、地域の視点を持ち、単なる知識の暗記ではなく、自分自身で学びとった日本文化を、世界に向けて発信する人材を育成することを目的としています。

学生のみなさんは、外国語、情報処理、日本語表現法

などの科目で発信する能力を身につけ、さらに専門科目で日本文化に関する知識と研究方法を広く、深く学んでいただきます。そして、最終学年の「卒業論文・卒業研究」では、自分で見つけたテーマと具体的な素材で、研究に取り組んでいただきます。わたしたち教員と一緒に、“自分にとっての日本文化”をさがしてみませんか。

## カリキュラムマップ

	1年次 (第1・2セメスター)	2年次 (第3・4セメスター)	3年次 (第5・6セメスター)	4年次 (第7・8セメスター)
学びの深まり	大学で学ぶ意義を自覚する PCや日本語表現の技能を習得する	国際文化交流に必要な語学力を習得する	日本文化を学ぶための基礎的な技能・知識を習得する	日本文化とは何かを理解するための基礎知識を学ぶ
日本について理解するための幅広い学びを基礎に、本当に探求したいテーマを見つけます。			日本文化についての学識を深め、テーマを決めて研究を進める	卒業論文・卒業研究



### 他学科専門科目

日本文化学科の専門科目以外にも、一人ひとりの興味・関心に合わせて、他学科の専門科目の履修も可能です。

### f-Campus提供科目

(5大学単位互換制度)⇒P.42

学習院女子大学の授業に加え、学習院大学、日本女子大学、立教大学、早稲田大学が提供する科目も履修することができます。

カリキュラムの詳細は本学ウェブサイト  
で確認してください。  
[http://www.gwc.gakushuin.ac.jp/faculty/g\\_japanese/curriculum.html](http://www.gwc.gakushuin.ac.jp/faculty/g_japanese/curriculum.html)



\* 3年次(第5セメスター)から4つ目のコースに分かれます。登録するコースごとに定められた専門科目の中から13科目以上を選択して履修します。

### 取得できる資格・免許(P.46参照)

- 司書
- 学芸員
- 中学・高校教諭一種免許状(国語)

### 将来の活躍分野(P.50参照)

#### 日本文化の伝統と特質を世界に伝える人材として

高い教養と高度なコミュニケーション能力を活かして、企業の海外部門や商社、外資系企業、マスコミなど活躍の場は多様です。また、海外協力機関や国際機関、国家公務員、地方公務員など幅広い国際交流分野での活躍が期待できます。日本語教員への道も開かれています。